

令和7年度 大東小学校関係者評価書(最終評価)

	重点目標	方策手立て等	評価指標	アンケート平均					自己評価		学校関係者評価		
				1学期		2学期			目標別平均 (2学期)	総合	評価	コメント	
				児童	職員	児童	職員	保護者					
『健』 (体育)	1 基本的な生活習慣を身に付けた児童の育成	くすのきっカードを活用した早寝・早起き・朝ごはんの定着を図る。	チャイム着席など、時間を守れた児童(アンケート)	3.1	3.0	2.9	3.0	2.8	2.9		3	3	<p>○欠席等も少なく、基本的な生活習慣は身に付いていると思われるので、引き続き指導の継続を期待する。</p> <p>○メディアとの付き合い方については、各家庭での保護者の意識も高める必要があると思われる。ぜひ家庭との連携強化を図ってほしい。</p> <p>○体力テストの数値が向上していたり、眼科の治療率も高くなっているため、今後も体力や健康の維持向上に期待したい。</p> <p>○持久走大会では、一人ひとりが競争心をもちつつも、自己ベストを目指す姿があった。保育園の園児達も大東小のグラウンドでマラソン大会を行ったため励みになったし、来年度への期待をもつことができた。</p> <p>○児童のむし歯の治療率が下がっており、治療が進んでいない家庭が多い。本年度も大きな課題として引き続き声かけを行っている。</p> <p>○児童の交通ルールの遵守については課題があるため、横断歩道の渡り方や自転車の乗り方も含め、常時指導を継続してほしい。常に地域の方から見られている意識をもって登下校をしてほしい。</p>
		参観日などを活用し、家庭と連携した正しいメディアとの接し方の定着を図る。											
		チャイム着席など、日々の指導による時を守る意識の定着を図る。											
	2 発達段階に応じた体力づくりの推進	体育科授業の充実、スクールスポーツプランに基づく取り組みの継続的な実践を行う。	運動や外遊びなどに進んで取り組めた児童(アンケート)	3.3	3.2	3.5	3.6	3.2	3.3				
		日常的な外遊びや季節に合った運動等とおした、運動習慣の定着と体力の向上を図る。											
		集団指導と個の目標に応じた指導をバランスよく行い、最後までねばり強くやり遂げようとする、たくましい心身の育成を図る。											
	3 日常的な保健・安全指導の充実	健康診断の結果に基づく指導をとおして、健康に関心をもち、すすんで治療しようとする態度を養う。	けがをせず、自分の体を大切にできる児童(アンケート)	3.6	3.0	3.4	3.3	3.3	3.3				
		性教育や栄養指導等をおして、生命や健康を自ら大切にしようとする態度を養う。											
		交通安全教室及び日常的な通学指導をとおして、交通ルールを守り、自分の命は自分で守ろうとする態度を養う。											

	重点目標	方策手立て等	評価指標	アンケート平均					自己評価		学校関係者評価	
				1学期		2学期			目標別平均 (2学期)	総合	評価	コメント
				児童	職員	児童	職員	保護者				
『正』 (知育)	1 望ましい学習習慣の定着	「学びの約束」を徹底し、授業を大切にする意識を高める。  BBTの充実を図り、望ましい学習習慣や態度を身に付けさせる。	学びの約束を守ることができる児童(アンケート)	3.2	2.5	3.1	2.4	3.2	2.9	3	3	○授業を大切にする意識や学習習慣の定着について先生方の評価が低いため、子ども達への期待が表れていると感じた。 ○「学びの約束」について内容を確認し、徹底してほしい。  ○「書く」ことの指導について、ICTの活用も大切ではあるが、やはり「文字を書く」ということの基本を忘れないように指導を継続してほしい。  ○保護者の評価から、家庭で読書をしている児童が少ないように感じるので、串間市全体で実施している「家読ノーメディアデー」をさらに定着させて、家庭での協力はもちろん、子ども達の意識を高めていく必要があると感じた。 ○学童でも読書をさせているため、引き続き読書の習慣を大切にしていきたい。 ○「串間や大束のことが好き」と答える児童がとても多いため、郷土愛がしっかりと育っているなど感じた。引き続き、郷土愛が高まる指導を継続してほしい。
	2 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着	めあてとまとめの整合、学年の発達段階に応じた協働的な学びの推進等の授業改善をとおして、児童に「わかったこと」「できるようになったこと」を実感させる。  ICTの活用等をとおして基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。	タブレットなどを使って、学習ができる児童(アンケート)	3.7	3.0	3.6	3.3	3.3	3.4			
	3 望ましい読書習慣の確立	授業や「家読・ノーメディアデー」を活用し家庭と連携した読書活動を推進することで、望ましい読書習慣を身に付けさせる。	本を進んで読む児童(アンケート・読書の記録)	3.2	2.7	3.0	3.1	2.2	2.8			
	4 郷土に誇りと愛情をもつ児童の育成	地域のひと・もの・ことについて学ぶ授業や活動をとおして、郷土愛を深めるとともに、地域のために何ができるかを自ら考えて実践しようとする態度を養う。	串間や大束のことが好きな児童(アンケート)	3.8	2.8	3.7	3.3	2.7	3.2			

	重点目標	方策手立て等	評価指標	アンケート平均					自己評価		学校関係者評価	
				1学期		2学期			目標別平均 (2学期)	総合	評価	コメント
				児童	職員	児童	職員	保護者				
『和』 (德育)	1 規範意識をもち、礼儀と感謝を大切に する心と態度の育成	「大東小の当たり前」の指導をとおして、集団の中で誰もが過ごしやすい学校をつくらうとする態度を養う。  異学年交流をとおして、望ましい言動をはじめとする礼儀や感謝の心を育てる。	学校のルールを守ることができる児童(アンケート)	3.4	2.5	3.2	2.6	3.3	3.0	3	3	<p>○規範意識の項目について、先生方の評価が低いので、もっと礼儀や感謝の心を育てられるとよいのではないかと思った。</p> <p>○どこにでもルールはあるものなので、確実に守らせてほしい。</p> <p>○学童の中で、相手を思いやれない言動を見せたり、言葉遣いの悪かったりする児童や特定の児童を嫌う様子を見せたりする場面が見られる。そのため、指導を継続している。</p> <p>○言葉遣いの悪さや呼び捨てなどが見られ危惧している。学校では丁寧な言葉遣いができていても、習い事や遊びの場面では指導が必要な場面が見られるため、常に「言葉の大切さ」を意識させてほしい。</p> <p>○参観日等で「言葉の大切さ」について保護者にも啓発をしてほしい。</p> <p>○将来の夢ややってみたいことがある児童が多いことは、とても素晴らしいことだと思った。</p> <p>○たくさんある仕事の中でも、親の仕事を誇りに思える児童の育成に励んでほしい。</p>
	2 互いに認め、高め合うことができる児童の育成	道徳科の授業をとおして、人権意識を高める指導を行うとともに、いじめの早期発見・早期解決に努める。  委員会活動や学級における話し合い活動等をとおして、互いの意見を尊重する意識を高めるとともに、自分たちが決めたことに責任をもって意欲的に取り組もうとする態度を育てる。	思いやりのある行動や言葉遣いができる児童(アンケート)	3.5	2.7	3.2	2.6	3.0	2.9			
	3 生徒指導の三機能(自己存在感・共感的人間関係・自己決定の場)を生かした教育活動の推進	的確な集団指導の場、個に寄り添う場、個に応じた配慮や支援を要する場を意識し、児童の前向きにチャレンジしようとする心を支える	将来の夢ややってみたいことがある児童(アンケート)	3.7	2.8	3.5	2.7	2.9	3.0			

	重点目標	方策手立て等	評価指標	アンケート平均					自己評価		学校関係者評価		
				1学期		2学期			目標別 平均 (2学期)	総合	評価	コメント	
				児童	職員	児童	職員	保護者					
学校のチーム力の向上	1 小・中・高一貫教育、保小連携、小小連携の推進	「くしま学」を中心とした取組、複数校による合同行事や集合学習、合同研修の推進と充実に努める。	複数校による合同行事や集合学習などの推進と充実に努めている学校(アンケート)	/					2.9	2.9	3	3	○修学旅行やふれあい体験学習等で他の学校とふれあったり、公民館講座で地域の高齢者とともにニュースポーツや折り紙でふれあうことは、とても素晴らしい体験だと思う。 ○地域の高齢者と関わりをもつことは、児童の成長にも大きな意味をもつと思われるため、今後もぜひ大切にしてほしい。 ○これからもオープンスクールを実施し、ぜひたくさん授業を見せてほしい。
	2 家庭・地域との連携・協働推進	保護者をはじめ地域人材の効果的な活用と地域素材の教材化を図るとともに、地域と学校が協働して児童の学びや成長を支える教育環境づくりの推進を図る。	ホームページや学校だより等による積極的な情報発信をしている学校(アンケート)	/					2.9	2.9			
		ホームページの更新や学校だよりの発行、オープンスクールの実施等による積極的な情報発信により開かれた学校を目指す。		/					3.2	3.2			
		学校評価をカリキュラムマネジメントに生かす。		/					3.2	3.2			
	3 関係機関との連携推進	PTAをはじめ地域・市・県の関係機関との連絡を密にし、必要な事案に対して早期に対応できるよう、連携の推進に努める。	PTAをはじめ地域・市・県の関係機関との連携を図る学校(アンケート)	/					3.2	3.2			
4 コンプライアンスの推進	服務規律の徹底と定期的な職員研修の充実を図り、家庭・地域からの信頼に応える教育活動を展開する。	地域から信頼される学校(アンケート)	/					3.0	3.0				